

災害対策意見交換会



【万場学区】

■世帯数：3,079 世帯

■人 口：7,828 人

■面 積：1.389 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- 名古屋市消防局から万場学区におけるハザードマップを中心に危険予測の説明を受けるとともに、地域からの質問・要望事項に対しての説明・回答を得る「災害対策意見交換会」を実施した。
- 第1回は平成23年10月に万場集会所、第2回は平成24年3月に万場小学校の多目的ホールを会場に開催した。万場学区だけでなく、庄内川流域学区の住民や区政協力委員など約200人が参加した。

【住民へのPR方法】

チラシの回覧、掲示板への掲示

2 きっかけ、背景

平成23年の秋に台風が上陸し、庄内川が増水したため避難勧告が発令された。その後、学区内住民から防災対策の強化を求める声が多くあがり、災害への備えを強化し、住民と防災情報を共有する場として開催することになった。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、民生委員児童委員、消防団員、庄内川・新川流域の3学区 計約20人

(2) 他団体との協力

消防団、自主防災会委員、その他庄内川流域学区

4 実施のスケジュール

H23年
10月21日 第1回 意見交換会の開催



H24年
3月22日 第2回 意見交換会の開催



時期未定 自主防災組織を強化し、防災・避難訓練活動を活性化し、危機意識の向上を図る。

5 成果と課題

(1) 成果・効果

住民の災害に対する危機意識が向上した。

(2) 苦労した点

防災への対応の優先順位について、住民の理解を得ることに苦労した。

(3) 今後の課題・展望

庄内川、新川流域に位置し、災害危機意識を共有する学区と協力して対応優先順位を付けて緊急課題から要望していく。

(4) メッセージ・アドバイス

庄内川、新川流域学区が協力して防災意識の向上を図っていききたい。